

報 告

第 42 回全国頸髄損傷者連絡会・全国総会「東京大会」

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田 浩敬

1. はじめに

去る5月29日(土)、30日(日)、東京お台場にあるホテルサンルート有明にて行われた、第42回全国頸髄損傷者連絡会・全国総会「東京大会」へ参加した様子を、皆様にお伝え致します。

2. 全国総会の概要

全国に10の支部と3つの窓口があり、頸髄損傷者が同じ障害を持つ者をサポートしあい、情報交換、情報発信、そして様々な問題を解決することで、頸髄損傷者が不安に思うことなく、生活を豊かにする目的で1973年に全国頸髄損傷者連絡会が結成されました。その各支部で毎年交代しながら、担当を受け持ち全国頸髄損傷者連絡会・全国総会が開催されます。総会では、各支部の活動報告や、会の収支決算等が行われ、交流会やその他イベントも行われています。

3. 総会

全国津々浦々から頸髄損傷者が総会のために集まってきます。もちろん、総会も大事なのですが、せっかく全国から集まって来るのです。総会だけでは無く、観光や交流も一つの目的と考えておられる方も多いと思います。今回は、総会の前にワークショップがありました。「災害」をテーマにそれぞれの様な備えが必要になるのかを、グループワークで意見を出し合い、皆さんと考えました。私達頸髄損傷者は災害時、健常者と同じように避難することは容易ではありません。介助者の手配、公共交通が

ストップした状況での移動、就寝時も雑魚寝というわけにはいきませんし、排泄方法も人によって違います。ベッド上で流腸する方法の方もいるでしょう。その様な場合どうするのか。様々な意見が出て、改めて災害時の備えについて考え、私も日頃から準備する必要があると感じました。

ワークショップ後の総会では、各支部の活動報告、収支決算等が行われました。総会と同時に福祉機器業者の方々も来られていて、福祉機器の展示をされており、それらの製品についての説明もありました。

4. おわりに

毎年、各支部が担当を受け持ち、全国総会が開催されるのですが、総会があることで、全国各地へ足を運ぶことができ、沢山の方々と交流が持てます。この様な交流から情報を得ることで、頸髄損傷者の生活がより豊かになります。そして違った土地を観光することで、身の回りの環境との違いを知り、新たな情報として日々の生活の役に立つのではないのでしょうか。

私事になりますが、総会に参加する朝、電動車椅子の背パイプが折れて、操作不能になってしまいました。その時、皆さんが情報網を駆使して車椅子業者と連絡を取り合い、手配して下さったお陰で、修理して頂きました。ハプニングは、どのタイミングで起こるか分かりません。災害の時と同様に日頃から点検して、備えておく必要があります。

今回は皆さんにとっても助けて頂きました。皆さんの優しさ、頸髄損傷者連絡会が存在したから車椅子を修理して頂き、現在も不自由なく生活することができます。まさしく、頸髄損傷者が同じ障害を持つ者をサポートしあい、情報交換、情報発信、そして様々な問題を解決するといった目的を体感した、全国総会になりました。

兵庫頸髄損傷者連絡会

〒674-0068 兵庫県明石市大久保町ゆりのき通
2丁目3-5-1-205 (三戸呂方)